

15. 他府県との人口移動数

昭和40年国勢調査の結果に現われた全国的な特徴の一つに都市人口の増加、農村人口の流出化傾向が明確になったことである。

全国で人口の増加した府県は21、減少したのは25と、地域間の人口移動現象が浮きぼりされた。本県も35年以降人口の社会増の傾向が高まり、39年は転入168千人、転出99千人、社会増約7万人に達した。これは東京の人口圧力に伴う周辺地域への分散（住宅地化）工業開発等によるものとみられる。本県転出入人口のうち東京、神奈川、埼玉、茨城の4都県で転入の70%、転出の76%を占め、そのうち転出入とも東京が大半を占めている。

年, 府県	移 動 人 口		転入と転出の差	府 県	移 動 人 口		転入と転出の差
	転 入	転 出			転 入	転 出	
昭和 29 年	57 343	69 177 [△]	11 834	長 野 岐 阜 静 岡 愛 知 三 重	1 641	821	820
30	56 865	62 582 [△]	5 717		443	295	148
31	55 981	61 896 [△]	5 915		2 068	1 603	465
32	66 330	64 455	1 875		1 758	1 318	440
33	69 552	67 320	2 232		414	286	128
34	70 016	66 243	3 773	滋 賀 京 都 大 阪 兵 庫 奈 良	244	128	116
35	86 883	69 710	17 173		787	417	370
36	105 444	75 606	29 838		2 633	1 919	714
37	132 658	85 811	46 847		2 040	1 233	807
38	140 431	92 483	47 948		261	115	146
39	167 654	99 463	68 191				
北 海 道 青 森 岩 手 宮 城 秋 田	4 725	1 662	3 063	和 歌 山 鳥 取 島 根 岡 山 廣 島	223	158	65
	1 487	702	785		345	98	247
	1 614	505	1 109		333	128	205
	1 816	959	857		637	499	138
	1 580	702	878		832	596	236
山 形 福 島 茨 城 栃 木 群 馬	1 487	576	911	山 口 徳 島 香 川 愛 媛 高 知	1 030	225	805
	2 931	1 136	1 795		386	215	171
	6 026	3 467	2 559		278	138	140
	2 091	1 337	754		556	203	353
	1 695	1 118	577		312	140	172
埼 玉 東 神 奈 川 新 富 山	6 684	7 015 [△]	331	福 岡 佐 賀 長 門 熊 野 大 分	3 271	1 065	2 206
	94 747	54 115	40 632		484	143	341
	9 809	10 525 [△]	716		1 242	328	914
	2 897	1 157	1 740		1 039	322	717
	611	245	366		565	163	402
石 川 福 井 山 梨	490	248	242	宮 崎 鹿 児 島	647	209	438
	257	101	156		1 428	645	783
	810	483	327				